

管理と組織……通称東郷甲組青年団により維持管理されている。団員は三十五歳までの長男で、団長・副団長・会計・宮本・芸人幹事各一名で任期は宮本二年のほかは一年である。

祭礼前日に宮本に集まり(笠揃いという)神楽奉納の練習などを行い、当日の準備を行う。祭典終了後、再び宮本に集合する(笠抜きという)。笠抜きとは、慰労会を兼ねて祭りでの役割解除と次の役職の選任を行うものである。

神楽の頭・衣装は宮本で管理し、練習は三ヶ月前から社務所で行う。

演者と衣装……踊り手は、紺の着物に袴・白足袋・草履姿で、囃子方は、紋付羽織・袴姿である。太鼓一名、笛二、三名、鉦一名、他に団員数名がつく。

採物・用具・楽器など……獅子頭は、高田島神社と同じくケヤキ彫りの漆塗りで赤を基調とし、眼と歯には金色を、耳、鼻、眉には黒色を配してある。

芸能の構成と内容……諏訪神社境内において高田島神社と同じく①四方固め、②幣舞、③矢車、の順で踊られる。内容を紹介しますと次のとおりである。

① 四方固め……獅子遣い二人が入り、前かぶりが手を広げながら、さらに後かぶりが一段と獅子幕を高く上げながら四方を清め舞う。

② 幣舞……右手に幣束を持ち、一人で舞う。後、両手に幣束を持って舞う。

③ 矢車……最初、両手で鈴・幣束を持って踊り、後に右手に鈴、左手に幣束を持ちかえて四方固めと同じく踊る。角の地点で中央に向かって進んではもどることを繰り返す。この時、後かぶりは、豆し